

2013年3月12日

株式会社 リクルート 住まいカンパニー

2012年首都圏新築マンション契約者動向調査

～「地震対策」の重視傾向が昨年より更に強まる～

株式会社リクルート住まいカンパニー(本社：東京都千代田区 代表取締役社長：葛原孝司)では、新築分譲マンション市場の実態をつかむために、2000年より首都圏の新築分譲マンション契約者を対象とした調査を行っております。この度、2012年に契約された方の動向を取りまとめました。時系列比較をしながら、概要をご報告いたします。

調査トピックス

● 平均年齢は横ばい、子供あり世帯の購入が4割強 (p3～4)

- ・ 世帯主年齢は平均37.4歳。子供あり世帯が4割強を占める。平均年齢、子供あり世帯の割合とも2011年から横ばい。
- ・ 共働き世帯の比率は49%で、2001年から13ポイント増。既婚世帯のみでは57%で、子供あり世帯では4割、夫婦のみ世帯では8割を占める。
- ・ 購入者におけるポスト団塊ジュニア世代の割合は56%で、2011年から5ポイントの増加。子供あり世帯では6割弱、夫婦のみ世帯では7割弱を占める。

● 東京23区内の購入割合は4割で、ほぼ横ばい (p5)

- ・ 購入物件所在地は東京23区39%、神奈川県25%、埼玉県15%、東京都下11%、千葉県10%。

● 平均購入価格は前年からほぼ横ばいの4,058万円 (p6)

● 購入理由で最も多いのは「子供や家族のため」 (p7)

● 「価格」「最寄り駅からの時間」「住戸の広さ」が重視上位3項目 (p8)

- ・ 「耐久性・構造」は2011年に5ポイント増加し、今回も2011年と同水準。

● 昨年に続き、「地震対策」を購入の決め手とする割合が増加 (p9)

- ・ 「地震対策」は2011年から5ポイント増で、2年連続での増加。順位も4位へ上昇。

● 中古マンションとの並行検討者は引き続き4割を超える (p10)

- ・ 検討した住宅種別として「中古マンション」は42%。2009年以降4割台で推移。

リクルート住まいカンパニーはこれからも、ひとりひとりにあった「まだ、ここにはない、出会い。」を届けていきます

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社リクルート住まいカンパニー 企画統括室統括部 総務グループ 広報チーム
 西村 里香 TEL 03-6835-5657 / E-mail rikanisi@r.recruit.co.jp
 林 鉄朗 TEL 03-6835-5464 / E-mail t_hayashi@r.recruit.co.jp

目次

1. 契約世帯主の属性	3
2. 購入物件所在地	5
3. 購入価格	6
4. 住まいの購入理由	7
5. 重視項目	8
6. 決め手になった項目	9
7. 検討住宅種別	10

調査概要

- **調査目的** 首都圏新築分譲マンション契約者の購入物件・購入行動・購入意識など購入動向を把握する
- **調査対象**
 - ▽ 2012年1月～2012年12月の首都圏(東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県)新築分譲マンション購入契約者
 - ※ 2012年1月～2012年12月の契約者の確認方法...回答票に契約書等(契約日・物件所在地が確認できる書類)コピーの添付を依頼
- **調査方法**
 - ▽ 協力依頼 首都圏各種メディアを通して調査対象者へ協力依頼
 ↳ 一般新聞広告/タウン誌広告/電車内広告/SUUMO新築マンション/SUUMO(Web)/都心に住む
 - ▽ 調査票の送付 協力意向者に対して郵送にて送付
 - ▽ 調査票の返送 郵送法
- **集計対象期間** 2012年1月～2012年12月
- **集計数** 計4,384件
 - ▽ 経年のデータについて…年によって調査方法や対象の物件種別は異なるが、各年とも新築マンション契約者のサンプルのみで集計している。
 - ▽ 2003年～2006年は、全住宅購入契約者を対象とした調査(項目は全物件種共通)を一次調査、新築マンション契約者のみを対象とした調査を二次調査として実施。2007年からは一次・二次をまとめ、一括で実施。2009年4月からは調査対象を新築マンション契約者のみに限定。

※ 2011年契約者	: 3,746件	(2012年3月発表)
※ 2010年契約者	: 4,035件	(2011年3月発表)
※ 2009年契約者	: 3,022件	(2010年3月発表)
※ 2008年契約者	: 2,431件	(2009年4月発表)
※ 2007年契約者	: 2,847件	(2008年4月発表)
※ 2006年契約者	: 3,536件(うち二次調査: 2,793件)	(2007年3月発表)
※ 2005年契約者	: 2,439件(うち二次調査: 1,726件)	(2006年4月発表)
※ 2004年契約者	: 3,743件(うち二次調査: 2,501件)	(2005年6月発表)
※ 2003年契約者	: 4,616件(うち二次調査: 3,189件)	(2004年5月発表)
※ 2002年契約者	: 5,873件	(2003年6月発表)
※ 2001年契約者	: 6,919件	(2002年4月発表)

※調査データを引用する際は、「2012年首都圏新築マンション契約者動向調査(株式会社リクルート住まいカンパニー)」と明記をお願いいたします。

● 平均年齢は横ばい、子供あり世帯の購入が4割強

- ◇ 契約世帯の世帯主年齢は「30～34歳」が最も多く31%、以下「35～39歳」(24%)、「40代」(21%)と続く。平均年齢は37.4歳で、2011年から横ばい。
- ◇ 契約者のライフステージでは「子供あり世帯計」が43%を占めており、「夫婦のみ世帯」は35%、「シングル世帯計」は12%となっている。いずれの世帯も、比率は2011年からほぼ横ばい。

■ 契約時世帯主年齢(全体/実数回答)

	20代	30～34歳	35～39歳	40代	50歳以上	無回答	平均(歳)
● 凡例							
2012年契約者全体 (n=4384)	15.1%	30.5	23.7	20.7	9.7	0.3	37.4
2011年契約者全体 (n=3746)	14.0	31.0	25.1	20.2	9.3	0.4	37.3
2010年契約者全体 (n=4035)	16.6	33.1	24.0	19.7	6.4	0.2	36.2
2009年契約者全体 (n=3022)	17.8	36.5	23.8	16.8	4.9	0.2	35.4
2008年契約者全体 (n=2431)	17.6	37.0	22.5	16.9	5.8	0.2	35.6
2007年契約者全体 (n=2847)	18.7	33.9	23.5	16.9	6.7	0.4	35.9
2006年契約者全体 (n=3536)	17.8	35.2	24.3	16.1	6.4	0.2	35.7
2005年契約者全体 (n=2439)	17.9	34.5	21.7	19.2	6.4	0.2	36.0
2004年契約者全体 (n=3743)	17.5	34.1	23.7	17.9	6.8	0.2	36.0
2003年契約者全体 (n=4616)	16.3	32.5	24.2	18.8	8.0	0.2	36.6
2002年契約者全体 (n=5873)	15.4	31.4	24.3	19.0	9.7	0.2	37.1
2001年契約者全体 (n=6919)	15.8	30.5	24.6	19.1	9.7	0.3	37.1

(単位:%)

■ ライフステージ(全体/単一回答)

	シングル世帯		夫婦のみ世帯	子供あり世帯		シニアカップル世帯	その他・不明	シングル世帯計	子供あり世帯計
	シングル男性世帯	シングル女性世帯		第一子小学校入学前世帯	第一子小学生以上世帯				
● 凡例									
2012年契約者全体 (n=4384)	6.2%	5.7	35.2	31.9	11.5	3.6	5.9	11.9	43.4
2011年契約者全体 (n=3746)	6.0	6.1	36.2	30.4	11.6	3.5	6.3	12.0	41.9
2010年契約者全体 (n=4035)	7.1	5.7	41.1	28.6	9.6	2.1	5.9	12.8	38.1
2009年契約者全体 (n=3022)	7.7	5.1	40.3	30.5	9.6	1.3	5.6	12.8	40.1
2008年契約者全体 (n=2431)	7.7	4.6	35.0	33.8	11.6	1.6	5.6	12.3	45.4
2007年契約者全体 (n=2847)	6.1	4.8	35.1	33.5	13.1	2.0	5.4	11.0	46.6
2006年契約者全体 (n=3536)	6.7	5.1	36.8	30.5	12.3	1.7	6.8	11.8	42.8
2005年契約者全体 (n=2439)	6.2	6.6	34.7	31.0	13.0	1.5	7.1	12.7	44.0
2004年契約者全体 (n=3743)	7.2	7.7	34.3	28.6	14.3	1.9	6.1	14.9	42.9
2003年契約者全体 (n=4616)	7.1	7.1	33.0	28.9	16.1	2.5	5.3	14.2	45.1
2002年契約者全体 (n=5873)	6.4	6.4	32.6	28.1	18.7	2.9	5.0	12.8	46.8
2001年契約者全体 (n=6919)	6.2	6.5	31.5	27.9	19.7	3.2	5.1	12.7	47.6

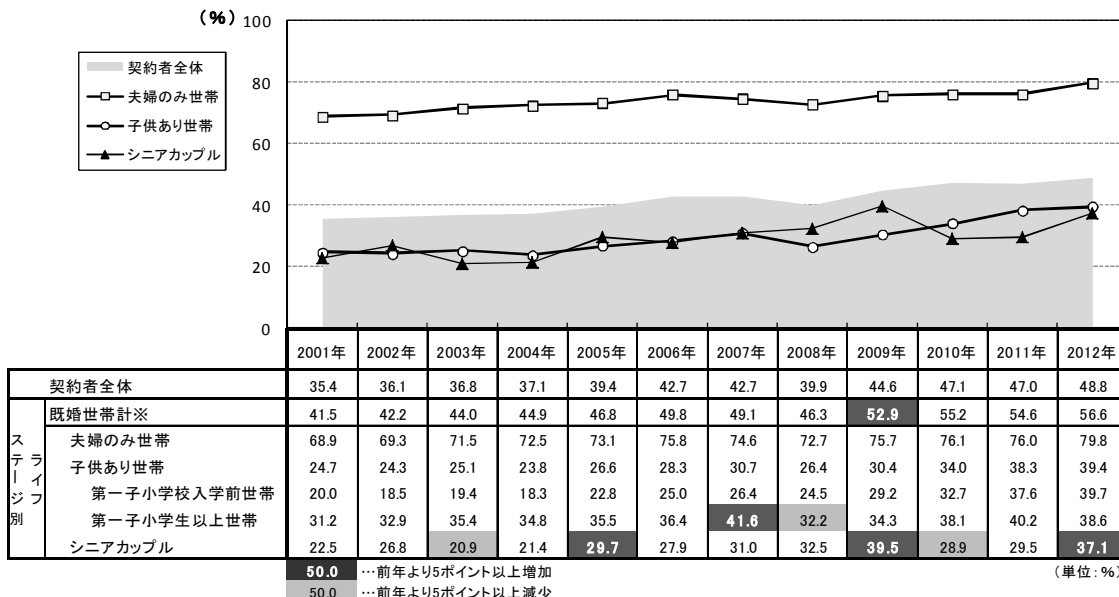
(単位:%)

※「シニアカップル世帯」は、世帯主年齢が50歳以上の夫婦のみ世帯

● 共働き世帯が全体の49%(2001年から13ポイント増加)

- ◇ 契約世帯全体における共働き世帯の割合は49%。既婚世帯では57%で、更に詳しくみると、夫婦のみ世帯では80%、子供あり世帯では39%を占める。2001年と比較すると、全体では13ポイントの増加。子供あり世帯のうち第一子小学校入学前世帯では、2001年(20%)からほぼ倍増している。
- ◇ 購入者におけるポスト団塊ジュニア世代(1976年以降生まれ/2012年時点で36歳以下)の割合は56%で、2011年から5ポイント増加。ライフステージ別でみると、シングル女性世帯以外の世帯では半数を超えており、特に夫婦のみ世帯では7割弱を占める。

■ 共働き比率(全体/単一回答)

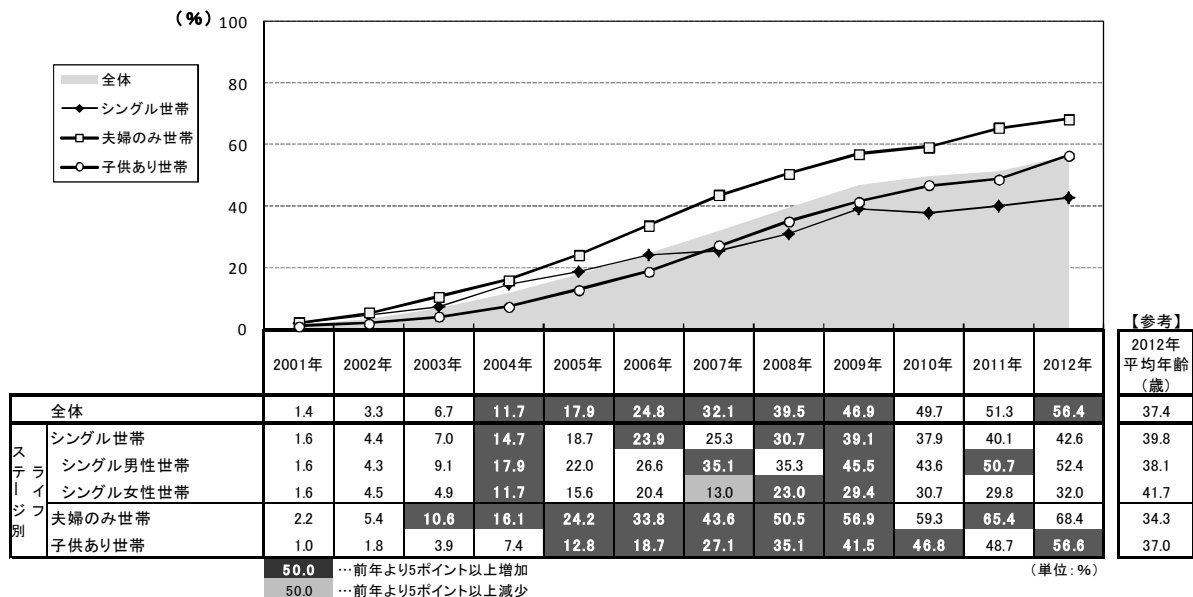


※共働き比率…雇用形態の設問に対し、世帯主・配偶者ともに下記①～⑥のいずれかに該当する者を「共働き」とした。

①正社員 ②契約社員 ③公務員・団体職員 ④自営業 ⑤医師・弁護士・税理士・会計士等 ⑥アルバイト・パート ⑦主婦 ⑧学生 ⑨無職 ⑩その他

※既婚世帯計…ライフステージの「シングル世帯」と「その他・不明」を除いたサンプルの合計

■ ポスト団塊ジュニア世代の比率(全体/単一回答)



※ポスト団塊ジュニア世代…物件契約年から世帯主年齢を引いたものを世帯主の生年と推定し、その生年により世代を分類。1976年以降の生まれをポスト団塊ジュニア世代とした。

● 東京23区の購入割合は4割で、ほぼ横ばい

- ◇ 購入した物件の所在地では「東京23区」が最も多く39%を占めた。ついで「神奈川県」の25%。「東京23区」の割合は2008年以降増加傾向にあったが、今回は2011年からほぼ横ばい。
- ◇ 物件購入者の具体的な購入先市区郡をみると、東京都では「江東区」が最も多く11%。「江東区」は2011年に4ポイント減少したものの、今回4ポイント増加し2010年とほぼ同率となった。神奈川県では「横浜市鶴見区」(11%)、埼玉県では「戸田市」(17%)、千葉県では「習志野市」(17%)が最も多い。

■ 購入物件所在地(全体/単一回答)

●凡例	東京23区	東京都下	神奈川県	埼玉県	千葉県
2012年契約者全体 (n=4384)	38.9%		10.9	24.6	15.3
2011年契約者全体 (n=3746)	38.2		9.5	26.4	15.5
2010年契約者全体 (n=4035)	36.2		9.1	26.8	14.9
2009年契約者全体 (n=3022)	34.0		9.5	24.7	15.7
2008年契約者全体 (n=2429)	25.0	11.2	27.7	15.5	20.7
2007年契約者全体 (n=2845)	24.3	9.9	26.4	16.0	23.4
2006年契約者全体 (n=3536)	36.4		9.7	28.5	10.2
2005年契約者全体 (n=2439)	40.3		11.5	25.9	10.1
2004年契約者全体 (n=3743)	45.7		10.3	25.4	9.0
2003年契約者全体 (n=4616)	36.9		11.2	28.3	12.5
2002年契約者全体 (n=5869)	36.1		11.9	27.4	10.0
2001年契約者全体 (n=6919)	35.3		11.2	29.7	10.1

(単位:%)

※2008年のデータは、購入物件の所在エリアが東京都だが市区郡不明というサンプルが2サンプルあったため、それを除いた2429サンプルで集計している。
 ※2007年のデータは、購入物件の所在エリアが東京都だが市区郡不明というサンプルが2サンプルあったため、それを除いた2845サンプルで集計している。
 ※2002年のデータは、購入物件の所在エリア無回答が4サンプルがあったため、それを除いた5869サンプルで集計している。

■ 購入物件所在地【詳細】(各都県内購入者/単一回答) ※2012年の上位20位までを掲載(千葉県は全所在地を掲載)

【東京都】	2012年	2011年	2010年
調査数	2184	1786	1828
23区計	78.1%	80.1%	79.9%

【神奈川県】	2012年	2011年	2010年
調査数	1080	989	1082
横浜市計	55.8%	47.9%	43.3%
川崎市計	27.7%	29.6%	31.5%

【埼玉県】	2012年	2011年	2010年
調査数	669	580	603
さいたま市計	37.8%	33.1%	32.8%

【千葉県】	2012年	2011年	2010年
調査数	451	391	522
千葉市計	21.3%	28.4%	25.7%

1 江東区	11.4	7.8	11.3
2 板橋区	5.4	7.4	4.6
3 足立区	5.2	7.3	5.3
4 台東区	5.0	4.9	2.8
5 大田区	4.8	4.5	1.8
6 葛飾区	4.1	3.4	4.1
7 北区	3.9	2.2	2.4
8 中央区	3.8	4.5	2.6
9 新宿区	3.7	2.6	2.7
10 品川区	3.3	4.2	3.1
多摩市	3.3	0.8	0.4
12 練馬区	3.1	2.6	5.0
江戸川区	3.1	2.1	7.3
14 世田谷区	3.0	4.8	6.5
15 荒川区	2.9	4.2	3.1
16 武蔵野市	2.6	2.0	0.8
17 小平市	2.5	3.0	0.4
18 港区	2.4	1.5	1.5
19 墨田区	2.2	1.9	2.2
町田市	2.2	1.3	0.4

1 横浜市鶴見区	11.2	5.0	7.8
2 横浜市港北区	9.1	9.1	9.6
3 横浜市神奈川区	7.0	2.2	2.1
4 川崎市中原区	6.8	6.9	6.5
5 横浜市都筑区	6.2	6.4	4.9
6 川崎市幸区	5.7	4.0	4.6
7 川崎市川崎区	4.4	4.8	5.6
川崎市宮前区	4.4	8.1	6.8
9 相模原市南区	4.1	1.7	0.6
10 横浜市戸塚区	3.6	2.7	2.7
11 茅ヶ崎市	3.4	3.4	3.0
12 横浜市港南区	2.8	—	1.2
横浜市青葉区	2.8	5.0	4.5
川崎市高津区	2.8	2.7	3.7
川崎市麻生区	2.8	2.4	3.0
16 横須賀市	2.7	2.4	2.3
17 横浜市南区	2.2	1.0	1.6
18 横浜市中区	1.9	5.6	1.8
19 横浜市旭区	1.8	0.7	0.5
20 横浜西区	1.7	3.1	2.8
横浜市磯子区	1.7	1.6	0.5

1 戸田市	17.3	13.6	10.3
2 さいたま市浦和区	11.5	7.1	11.1
3 川口市	8.5	8.8	4.1
4 三郷市	7.6	5.9	3.0
5 さいたま市南区	6.4	6.2	3.8
6 さいたま市北区	6.1	6.9	8.6
さいたま市大宮区	6.1	9.1	6.3
8 さいたま市中央区	4.6	1.6	1.0
9 所沢市	4.3	4.8	4.0
10 新座市	3.7	4.0	2.0
11 志木市	3.1	4.7	—
12 越谷市	3.0	4.8	7.5
13 和光市	2.4	1.0	1.8
ふじみ野市	2.4	1.6	2.0
15 草加市	2.2	0.7	7.1
さいたま市緑区	2.2	0.7	—
17 朝霞市	1.8	1.7	6.1
18 久喜市	1.2	0.9	2.3
19 川越市	0.9	3.1	2.0
蕨市	0.9	2.1	5.0

1 習志野市	17.3	6.6	8.4
2 船橋市	13.7	13.0	13.2
3 千葉市美浜区	10.4	17.9	16.5
4 市川市	10.2	11.0	2.5
5 柏市	9.5	10.5	10.2
6 松戸市	8.0	5.1	4.6
7 流山市	7.5	6.1	16.3
8 千葉市花見川区	6.9	4.9	3.6
9 印西市	6.7	13.6	3.8
10 八千代市	4.2	—	0.6
11 千葉市中央区	3.1	4.1	2.9
12 浦安市	0.9	2.0	8.6
千葉市緑区	0.9	—	—
14 佐倉市	0.7	1.0	0.4

50.0 …前年より3ポイント以上増加
 50.0 …前年より3ポイント以上減少

(単位:%)

● 平均購入価格は前年からほぼ横ばいの4,058万円

- ◇ 購入価格は「3,500～4,000万円未満」が21%で最も多く、ついで「3,000～3,500万円未満」の20%。3,000万円台で全体の4割強を占める。平均購入価格は4,058万円。2011年からほぼ横ばいで、引き続き4,000万円台である。
- ◇ 購入物件所在地別にみると、東京23区は「6,000万円以上」の割合が1割強と高く、5,000万円以上で3割弱を占める。平均も4,533万円と最も高く、最も低い千葉県とは1,054万円の差がある。
- ◇ ライフステージ別にみると、平均額が最も高いのはシニアカップル世帯で4,283万円、ついで子供あり世帯の4,166万円。シングル世帯では、シングル男性世帯が3,700万円、シングル女性世帯が3,595万円と105万円の差がある。

■ 購入価格(全体/実数回答)

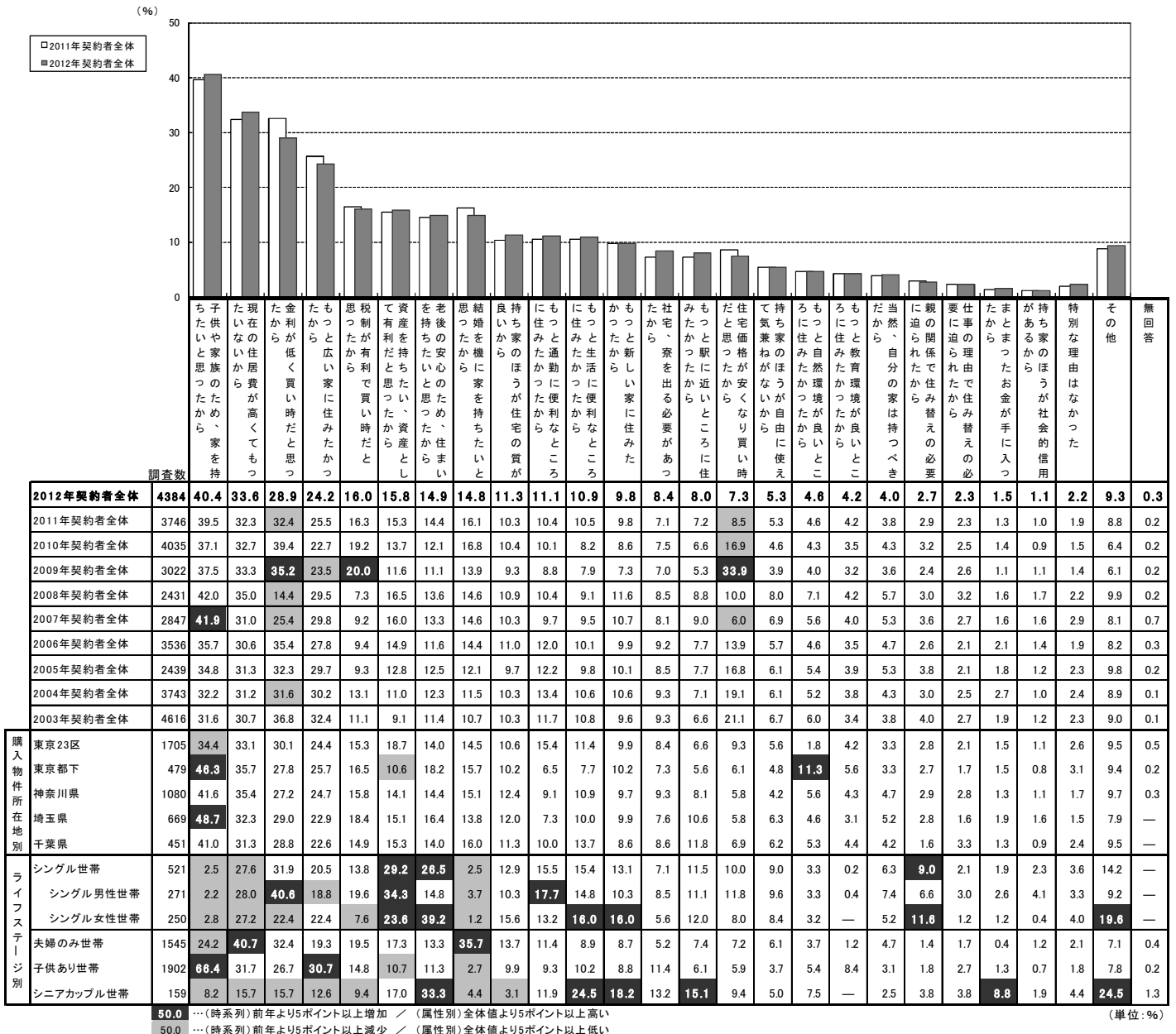
		2500万円未満	2500～3000万円未満	3000～3500万円未満	3500～4000万円未満	4000～4500万円未満	4500～5000万円未満	5000～6000万円未満	6000万円以上	無回答	平均(万円)
●凡例											
2012年契約者全体 (n=4384)		2.6	11.5	19.5	21.1	16.6	11.4	11.2	5.5	0.6	4,058
2011年契約者全体 (n=3746)		3.3	11.9	18.1	23.1	15.3	10.8	10.9	6.1	0.6	4,065
2010年契約者全体 (n=4035)		5.2	11.5	17.4	19.0	15.4	11.5	11.4	7.9	0.6	4,103
2009年契約者全体 (n=3022)		7.1	14.2	18.3	18.1	14.7	10.2	10.8	5.8	1.0	3,941
2008年契約者全体 (n=2431)		6.4	14.2	17.2	18.8	13.9	11.4	10.4	5.5	2.2	3,961
2007年契約者全体 (n=2847)		6.0	13.8	19.2	19.6	12.9	9.6	11.6	6.0	1.3	3,987
2006年契約者全体 (n=3536)		4.8	13.2	18.5	20.3	14.9	9.7	12.3	5.2	1.1	4,004
2005年契約者全体 (n=2439)		4.9	15.4	22.1	19.8	13.4	8.9	9.0	5.3	1.2	3,893
2004年契約者全体 (n=3743)		6.1	13.1	21.6	21.9	14.8	9.3	8.1	4.3	0.8	3,859
2003年契約者全体 (n=4616)		5.7	13.8	20.5	21.9	15.2	9.1	8.5	4.6	0.8	3,892
2002年契約者全体 (n=5873)		5.1	13.3	21.2	21.6	14.2	9.5	8.9	3.9	2.3	3,876
2001年契約者全体 (n=6919)		4.7	14.3	21.4	21.4	15.3	9.4	7.8	4.2	1.4	3,871
購入物件所在地別	東京23区 (n=1705)	1.4	5.5	11.8	17.9	19.6	14.3	16.8	11.8	0.7	4,533
	東京都下 (n=479)	4.0	9.4	24.8	20.3	13.4	14.0	10.6	3.1	0.4	3,925
	神奈川県 (n=1080)	1.6	11.6	21.9	24.7	16.6	10.8	10.1	1.9	0.7	3,917
	埼玉県 (n=669)	3.0	22.0	26.8	23.9	13.3	5.7	4.6	0.3	0.4	3,562
	千葉県 (n=451)	8.0	20.2	25.7	21.5	14.0	7.1	3.1	0.4	0.4	3,479
ライフステージ別	シングル世帯 (n=521)	6.9	20.0	26.3	17.5	11.5	6.9	7.5	2.5	1.0	3,650
	シングル男性世帯 (n=271)	5.2	20.3	24.0	18.1	14.8	7.0	7.0	2.6	1.1	3,700
	シングル女性世帯 (n=250)	8.8	19.6	28.8	16.8	8.0	6.8	8.0	2.4	0.8	3,595
	夫婦のみ世帯 (n=1545)	1.6	9.2	19.9	22.3	18.3	13.1	10.9	4.1	0.5	4,067
	子供あり世帯 (n=1902)	1.9	10.6	17.4	21.3	17.0	11.6	12.5	7.2	0.5	4,166
シニアカップル世帯 (n=159)	3.1	11.3	15.1	18.9	15.1	12.6	16.4	6.9	0.6	4,283	

(単位: %)

● 購入理由で最も多いのは「子供や家族のため」

- ◇ 住まいの購入を思い立った理由は、「子供や家族のため、家を持ちたいと思ったから」が最も多く40%。以下「現在の住居費が高くてもたないから」(34%)、「金利が低く買い時だと思ったから」(29%)、「もっと広い家に住みたかったから」(24%)と続く。
- ◇ 「金利が低く買い時だと思ったから」は2011年から4ポイント減で、2010年をピークに減少。「住宅価格が安くなり買い時だと思ったから」も2010年以降減少している。
- ◇ ライフステージ別にみると、シングル女性世帯では「老後の安心のため」が39%と最も高い(シングル男性世帯では15%にとどまる)。ほか、夫婦のみ世帯では「現在の住居費が高い」「結婚を機に」、子供あり世帯では「子供や家族のため」「もっと広い家に住みたい」が、それぞれ全体値より高くなっている。

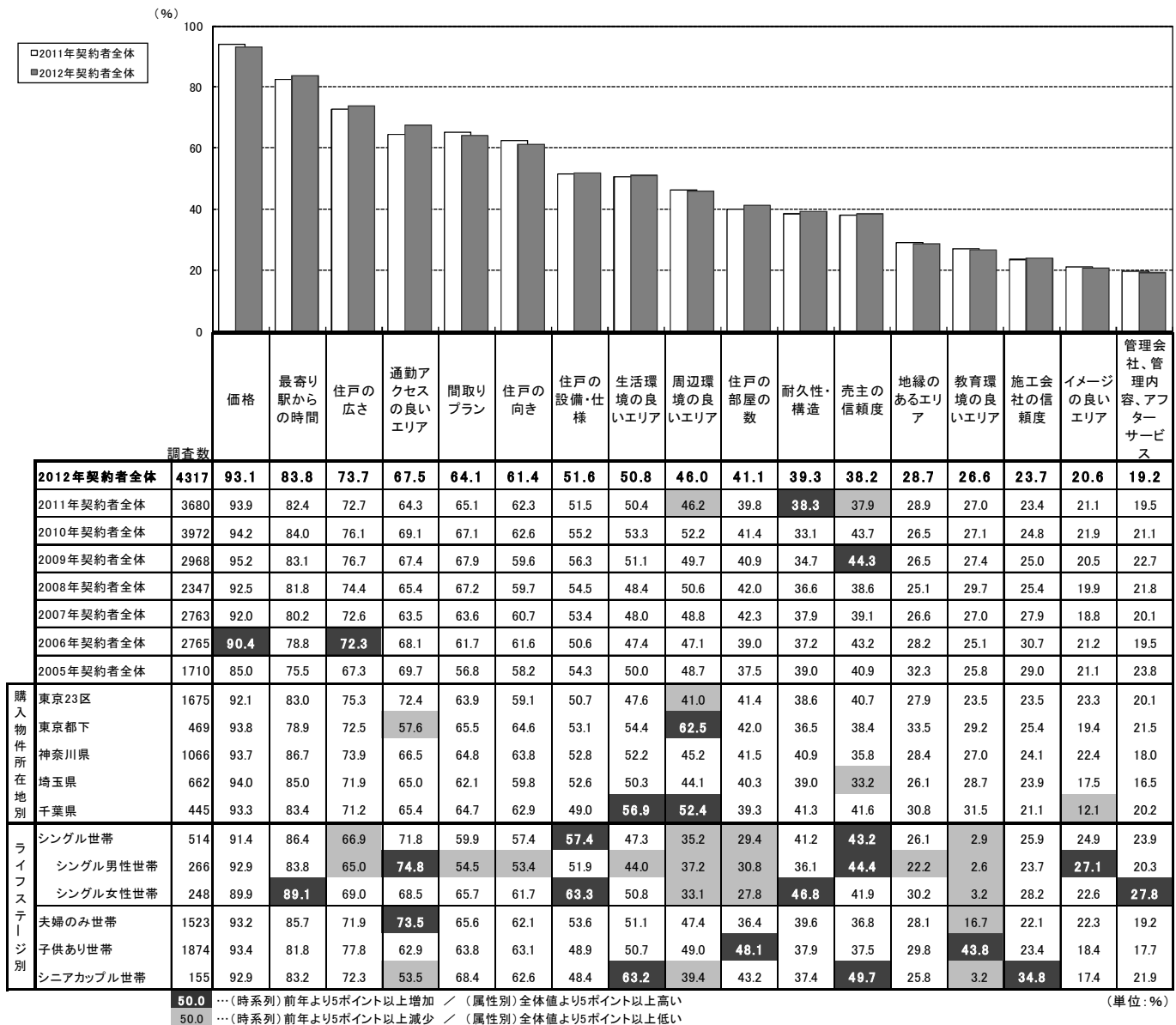
■ 購入理由(全体/3つまでの限定回答)



- 「価格」「最寄り駅からの時間」「住戸の広さ」が上位3項目
- 「耐久性・構造」は2011年に増加し、今回も同水準

- ◇ 物件を検討するうえで重視した項目は「価格」が93%で最も高い。以下「最寄り駅からの時間」(84%)、「住戸の広さ」(74%)などが続く。上位項目は2011年とほぼ同じ。
- ◇ 2011年と比較すると、「通勤アクセスの良いエリア」が3ポイント増加した。2011年に5ポイント増加した「耐久性・構造」は、今回も同水準。
- ◇ ライフステージ別に重視項目の特徴をみると、シングル男性世帯では「通勤アクセスの良いエリア」「売主の信頼度」「イメージの良いエリア」、シングル女性世帯では「最寄り駅からの時間」「住戸の設備・仕様」「耐久性・構造」「管理会社、管理内容、アフターサービス」の重視度が、それぞれ全体値より高い。
- ◇ 夫婦のみ世帯では「通勤アクセスの良いエリア」、子供あり世帯では「住戸の部屋の数」「教育環境の良いエリア」、シニアカップル世帯では「生活環境の良いエリア」「売主の信頼度」「施工会社の信頼度」が、それぞれ全体値より高くなっている。

■ 購入重視項目(全体、無回答を除く/複数回答)



※購入重視項目は2006年まで二次調査項目のため、2006年契約者までは二次調査回答者ベースとなっている。

● 昨年引き続き、「地震対策」を購入の決め手とする割合が増加

- ◇ 購入の決め手となった物件スペックでは「日当たりのよさ」が41%で最も多く、以下「収納スペース」(30%)、「リビングの広さ」「地震対策」(ともに24%)などが続く。
- ◇ 「地震対策」は2011年から5ポイント増で、2年連続での増加となった。順位も2011年の6位から今回は4位まで上昇した。
- ◇ ライフステージ別にみると、シングル男性世帯では「住戸からの眺望」「建物自体の外観やエントランスのデザイン」、シングル女性世帯では「地震対策」「床暖房の採用」「セキュリティの充実」、シニアカップル世帯では「地震対策」「住戸からの眺望」「セキュリティの充実」を決め手とする割合が、それぞれ全体値より高くなっている。

■ 決め手となった物件スペック(全体/5つまでの限定回答) ※50項目のうち、2012年の上位20項目を掲載

	2012年契約者全体	2011年契約者全体	2010年契約者全体	2009年契約者全体	2008年契約者全体	2007年契約者全体	2006年契約者全体	2005年契約者全体
調査数	4384	3746	4035	3022	2431	2847	2793	1726
1 日当たりのよさ	41.0	40.2 (1)	39.5 (1)	40.1 (1)	37.7 (1)	35.4 (1)	36.0 (1)	36.2 (1)
2 収納スペース	29.7	27.2 (2)	24.8 (3)	27.2 (3)	24.7 (3)	23.7 (3)	21.6 (4)	23.3 (4)
3 リビングの広さ	24.2	25.1 (3)	25.7 (2)	30.3 (2)	28.7 (2)	25.8 (2)	23.8 (2)	26.2 (2)
4 地震対策	23.5	18.4 (6)	9.9 (16)	10.4 (15)	12.0 (14)	12.4 (14)	13.0 (11)	14.1 (10)
5 角部屋	21.9	23.9 (4)	21.9 (5)	20.5 (5)	21.5 (4)	19.1 (5)	18.7 (7)	21.6 (5)
6 住戸からの眺望	20.1	18.0 (7)	23.0 (4)	23.8 (4)	20.6 (5)	20.7 (4)	19.0 (6)	17.4 (7)
7 全体の高級感	17.4	17.5 (8)	20.3 (6)	19.1 (6)	16.6 (7)	15.5 (9)	17.1 (8)	16.4 (8)
8 キッチン設備	16.6	18.6 (5)	15.5 (9)	15.3 (9)	14.6 (9)	13.6 (11)	10.0 (17)	9.0 (17)
9 大規模物件	15.4	14.2 (11)	15.7 (8)	13.6 (11)	16.0 (8)	17.8 (7)	20.6 (5)	18.0 (6)
10 床暖房の採用	14.8	14.3 (10)	12.0 (12)	10.0 (18)	10.2 (17)	8.3 (20)	7.3 (24)	6.0 (30)
11 セキュリティの充実	14.5	14.7 (9)	19.1 (7)	16.4 (7)	20.6 (5)	19.1 (5)	23.2 (3)	23.9 (3)
12 建物自体の外観やエントランスのデザイン	13.9	13.4 (12)	14.1 (10)	16.2 (8)	13.9 (11)	13.5 (13)	13.7 (10)	12.0 (13)
13 ペット可マンション	12.2	11.6 (15)	11.8 (13)	11.3 (12)	12.1 (13)	13.6 (11)	12.2 (14)	13.0 (12)
14 バルコニーの大きさ	11.3	12.3 (14)	10.0 (15)	11.1 (14)	11.2 (16)	11.5 (16)	11.2 (16)	11.1 (15)
15 風呂の大きさ・設備	10.9	12.7 (13)	12.9 (11)	14.2 (10)	14.2 (10)	14.9 (10)	12.9 (12)	13.2 (11)
16 キッチンの広さ	9.4	9.2 (17)	8.4 (20)	10.1 (17)	8.1 (22)	7.5 (22)	6.0 (30)	7.5 (25)
17 駐車場の料金	8.8	9.7 (16)	11.3 (14)	10.3 (16)	13.3 (12)	15.9 (8)	14.8 (9)	14.8 (9)
18 柱・梁の出っ張りが少ない	7.5	7.2 (24)	7.3 (24)	6.2 (27)	5.2 (34)	6.4 (27)	6.7 (27)	6.4 (27)
遮音性への対策	7.5	7.7 (19)	6.3 (27)	6.8 (25)	6.3 (25)	5.6 (31)	4.8 (33)	5.3 (34)
20 LD以外の各居室の広さ	7.2	7.4 (22)	8.5 (19)	8.4 (24)	7.9 (23)	7.4 (23)	7.9 (21)	7.6 (24)

※()内数字は当該年の順位

50.0 … 前年より5ポイント以上増加

(単位: %)

50.0 … 前年より5ポイント以上減少

【ライフステージ別】

	2012年契約者全体	シングル男性世帯	シングル女性世帯	夫婦のみ世帯	子供あり世帯	シニアカップル世帯
調査数	4384	271	250	1545	1902	159
1 日当たりのよさ	41.0	31.4 (1)	44.4 (1)	40.1 (1)	43.0 (1)	43.4 (1)
2 収納スペース	29.7	27.3 (3)	32.0 (3)	30.0 (2)	30.5 (2)	18.2 (6)
3 リビングの広さ	24.2	17.3 (8)	12.4 (14)	26.4 (3)	26.6 (3)	13.2 (10)
4 地震対策	23.5	22.9 (5)	32.4 (2)	22.6 (4)	21.3 (5)	36.5 (2)
5 角部屋	21.9	23.2 (4)	20.4 (6)	21.0 (5)	22.8 (4)	18.9 (5)
6 住戸からの眺望	20.1	29.9 (2)	19.2 (7)	20.0 (6)	18.9 (6)	28.3 (3)
7 全体の高級感	17.4	22.1 (6)	16.8 (8)	17.7 (8)	16.1 (9)	16.4 (8)
8 キッチン設備	16.6	9.2 (16)	16.8 (8)	18.8 (7)	16.5 (7)	8.8 (18)
9 大規模物件	15.4	13.7 (9)	12.0 (15)	15.0 (11)	16.4 (8)	17.6 (7)
10 床暖房の採用	14.8	11.4 (13)	21.2 (5)	14.2 (13)	14.7 (10)	11.3 (11)
11 セキュリティの充実	14.5	12.2 (11)	23.2 (4)	14.6 (12)	12.5 (11)	20.1 (4)
12 建物自体の外観やエントランスのデザイン	13.9	21.4 (7)	16.4 (10)	15.1 (10)	11.9 (12)	11.3 (11)
13 ペット可マンション	12.2	6.6 (21)	14.4 (11)	15.4 (9)	8.8 (17)	16.4 (8)
14 バルコニーの大きさ	11.3	8.9 (17)	14.4 (11)	12.1 (14)	10.7 (13)	10.1 (13)
15 風呂の大きさ・設備	10.9	12.9 (10)	12.0 (15)	11.7 (15)	10.7 (13)	6.3 (25)
16 キッチンの広さ	9.4	7.0 (19)	9.6 (19)	10.9 (16)	8.5 (20)	5.7 (28)
17 駐車場の料金	8.8	7.4 (18)	4.4 (23)	9.1 (17)	9.6 (15)	7.5 (19)
18 柱・梁の出っ張りが少ない	7.5	4.4 (25)	9.2 (21)	7.3 (20)	7.6 (21)	7.5 (19)
遮音性への対策	7.5	12.2 (11)	10.0 (18)	7.0 (22)	6.7 (24)	6.9 (23)
20 LD以外の各居室の広さ	7.2	4.1 (29)	3.6 (27)	6.7 (24)	8.6 (19)	5.0 (30)

※()内数字は各属性での順位

50.0 … 全体値より5ポイント以上高い

(単位: %)

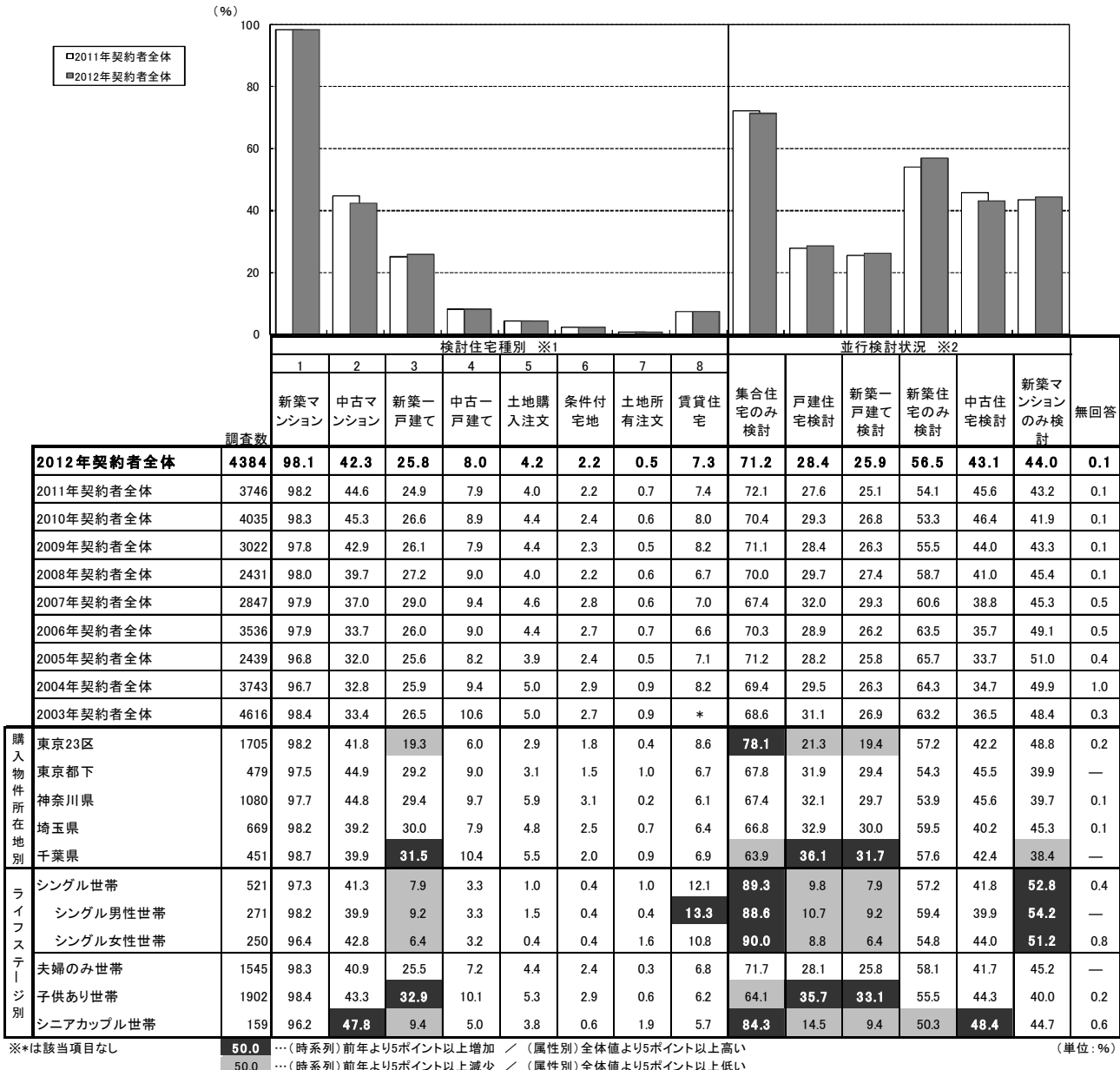
50.0 … 全体値より5ポイント以上低い

※決め手となった物件スペックは2006年まで二次調査項目のため、2006年契約者までは二次調査回答者ベースとなっている。

● 中古マンションとの並行検討者は引き続き4割を超える

- ◇ 具体的に検討した住宅の種別をみると、新築マンション以外では「中古マンション」が最も多く、42%。2009年以降4割台で推移している。
- ◇ ライフステージ別にみると、子供あり世帯は「新築一戸建て」、シニアカップル世帯は「中古マンション」の検討率が、それぞれ全体値より高い。並行検討状況では、シングル世帯で「新築マンションのみ検討」率が高くなっている。

■ 具体的に検討した住宅種別(全体/複数回答)



※1 <検討住宅種別について>

新築マンション契約者が、具体的に検討した住宅を種別ごとに集計(選択肢の文言に関する補足)

5「土地購入注文」	建築条件なしの土地を購入して注文建築
6「条件付宅地」	建築条件付の土地*を購入して注文建築(*施工会社があらかじめ決まっている土地)
7「土地所有注文」	所有している土地に注文建築
8「賃貸住宅」	2004年契約者から選択肢を追加

※2 <並行検討状況について>

新築マンション契約者が、並行して検討した住宅の分野ごとに集計

(分野に関する補足: 賃貸住宅を除く検討住宅種別(1~7)の選択状況によって、下記の通り分類)

集合住宅のみ検討	1または2に○、3~7のいずれも×
戸建住宅検討	3~7のいずれかに○
新築一戸建て検討	3または6に○
新築住宅のみ検討	1、3、5、6、7のいずれかに○、2、4のいずれも×
中古住宅検討	2または4に○
新築マンションのみ検討	1のみに○、2~7のいずれも×